

平成28年度 商店街若者協働プロジェクト事業

第4回若者チームWS次第

平成28年 7月 8日

【次第】

- 18:30 まかない夕食
↓ 会場の使用説明
18:55 後片付け
19:00 開会
第3回WS議事録の概要説明
第4回WS～意見交換会までの手順
19:15 具体案Aについての検討

「商店街内に新しい拠点を作る」

20:00 発表

20:20 具体案B・Cについての検討

「頑張ってる人を応援する」

「新しい」コミュニケーションツール開発」

20:45 発表

21:00 閉会

<会場使用説明>

- ① 私物は別場所に集積すること
当面は筆記用具程度でOK
- ② まかない夕食は基本セルフサービス
- ③ 飲料もセルフで、冷蔵庫利用可
食器、カップ等は洗い物かごへ
- ④ 飲食後はゴミ分別集積のこと
- ⑤ トイレの位置、使用方法確認
- ⑥ 事務機等利用可、使用方法は順次
事務用備品類、コピー機等

研修・イベント等スケジュール

7月13日(水) コミュニティビジネス講座
13:30~15:30

7月21日(木) プロジェクト意見交換会

18:30~21:00

会場: 豊栄商工会館2F 第1研修室

北区葛塚3348番地

時間: 18:30~ まかない

19:00~ 意見交換会

21:00 閉会

7月27日(水) コミュニティビジネス講座

13:30~16:30

7月30日(土) 商店会祭り

アルバイト募集中 15時~22時

8月20日(土) 第49回葛天

アルバイト10名募集 15時~22時

まかない付、1日5,000円

10月16日(日) 第50回葛天

アルバイト10名募集 8時~15時

まかない付、1日5,000円

11月 3日(祝) キテミテキタク2016

今年度のスケジュール

- 7月 8日(金) 第4回若者チームWS
7月21日(木) プロジェクト意見交換会
8月 5日(金) 第5回若者チームWS
8月26日(金) 第6回若者チームWS
9月15日(金) 第7回若者チームWS
10月14日(金) 第8回若者チームWS
11月11日(金) 第9回若者チームWS
11月25日(金) プロジェクト意見交換会
12月16日(金) 第10回若者チームWS

WS テーマ「具体案 A の、事業計画について話し合ってみよう！」

① 食堂、飲食を中心とした機能<今野・本田・島倉・菅野>

<検討・発表内容>

子供食堂を想定した（月1～2回）
NPO法人あるいは個人による事業主体
ボランティアや食材の持ち寄り期待
夜間営業店舗の空き時間を利用する手もある

<質疑・アドバイス>

- まずは目指す拠点のイメージを明確に伝えることが先決で、そこから議論を始めよう。
- 月1～2回程度で賑わい創出ができるのか？
- 主婦シェアリングや国際交流カフェなど「食」に関するバリエーションを組み込み賑わいを創出したい。
- 孤食解消という目的と賑わい創出という目的を同時に達成できる方法を検討しよう。
- もっと様々な手法を抽出して検討しよう。

② BOX ショップなど物販を中心とした機能<鹿野・佐々木・大島・深谷>

<検討・発表内容>

ハンドメイドを中心としたチャリティショップを目指す。
見附市 Pine のような女性向けのBOXショップ
新たなNPOを設立し事業主体とする。
（学校・学生・商店街・地域団体 等）
広告宣伝が一番重要（チラシ、SNS、ネット）
BOXショップの出店者募集は比較的可能？
設備費は公的資金・助成制度を利用し、運営費
（家賃・光熱費・人件費）は自主財源が必須

<質疑・アドバイス>

- 店舗イメージはわかり易いが、個性的な出店者を募集することは可能だろうか？
- また、対象客となる若い女性は居るのか？他地区からの集客力は品揃えで決まる。
- 見附市や新潟市内の同様な店舗との競争に勝てるだけの魅力的な店舗を目指さなければ。
- フリーマーケット（不用品）とハンドメイドは別物。
- 学生が卒業時に不要な物品を取り扱ってもよい
- 公的資金や助成制度は使えるが、運営費については店舗での売上に依存せざるを得ない。
- 楽観的に考え夢を描いていて楽しそう。

③ 道の駅的な社会福祉活動を中心とした機能<佐藤・猪爪・大川・本間>

<検討・発表内容>

旧「街の駅」の場所を想定した。
畳スペースがあって、高齢者を呼び込み易い。
キッチンバス、トイレの設備が完備されている。
囲碁・将棋・書道など行政ではない活動中心
介護講習、認知症予防運動
高齢者が子供を見守る託児所機能。
若者向け「駄菓子屋」かき氷やアイスクリーム販売

<質疑・アドバイス>

- 高齢者を一括りにしては視野が狭まる
リヤヤ世代はまだ若い。麻雀などのほうが・・・
- 高齢者ほど足腰が弱くなるので、畳はマットでは無くなりつつある。テーブルの方が喜ばれる
- 福祉的拠点となると「お茶の間」的な拠点だが商店街地域に無ければならない理由付けは薄い
商店街地域の賑わいという課題とコンセプトをどう結びつけるのか？という論拠を持つ必要あり
- 論理的に整理した上で、地域の方々に提案して議論を深める方向で整理したい。